



症状があるときはマスク、せきエチケットも必ず守る



外出したあとは、ごまめに、ていねいに手洗いを

## 新型コロナウイルス感染症の特徴

	新型コロナウイルス感染症	普通感冒（かぜ） インフルエンザ 急性胃腸炎
症状	発熱、呼吸器症状、倦怠感 下痢、嘔吐	
経過期間	約7日間持続する 悪化するときは急激に進行	3～4日で軽快し始める
合併症	約2割で肺炎；肺炎症状は多彩 さらに一部が重症化 基礎疾患がある場合はより注意	入院を要する合併症は比較的稀

1. 感染から約5日間（1～14日間）の潜伏期を経て、
2. 感冒様症状（発熱、咳、喀痰、咽頭痛、鼻汁等）、倦怠感等が出現し、
3. 一部の患者では嘔吐、下痢などの消化器症状を呈することもあり、
4. それら症状が比較的長く、約7日間持続する
5. 約8割の患者は、自然に軽快して治癒する
6. 約2割の患者は、肺炎を合併する。特に、高齢者や基礎疾患がある場合は肺炎を合併しやすい
7. 肺炎に進展した患者のさらに一部が、重症化して集中治療や人工呼吸を要する

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）  
診療所・病院のプライマリ・ケア初期診療の手引き  
2020/3/11 日本プライマリ・ケア連合学会

## 新型コロナウイルス感染症コールセンター

横浜045-550-5530 9時から21時

川崎044-200-0730 8時30分から17時15分

神奈川県045-285-0536 9時から21時

厚労省0120-565-653 9時から21時

もしかして  
新型肺炎？

37.5℃以上の発熱や咳など、かぜ症状がある  
(不要な外出は控え、毎日体温を測り記録してもらう)



症状があるときはマスク、せきエチケットも忘れずに



外出したあとは、こまめに、ていねいに手洗いを



PCR検査など判断

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)  
診療所・病院のプライマリ・ケア初期診療の手引き  
2020/3/11 日本プライマリ・ケア連合学会